

社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画	
① 計画の名称	美馬市全地域住宅計画
② 都道府県名	徳島県
③ 計画作成主体	美馬市
④ 計画期間	平成 21 年度 ～ 24 年度
⑤ 計画の目標	<p>既存のストックの有効活用をするため、老朽化した市営住宅の適切な改善を図る。</p> <p>大規模な地震災害に対し、安全・安心な住まいを確保する。</p>
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	美馬市において評価を行う
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：市営住宅の内、改善を実地する戸数 定義：屋上防水シートに断熱構造を付加する戸数 評価方法：事業実績から把握 結果：従前値:0戸（20年度）⇒目標値:236戸（24年度）⇒実績値:100% 結果の分析：市営住宅ストックの今後施設利用の充実期間更新のため、屋上の断熱防水工事を計画どおり 236 戸を実施し、目標を達成した。</p> <p>指標②：市営住宅中層耐火構造耐震診断 定義：大規模地震に備え安全性の確保のため耐震診断を実施する戸数 評価方法：事業実績から把握 結果：従前値:268戸（20年度）⇒目標値:374戸（24年度）⇒実績値:100% 結果の分析：新耐震基準以前に建設した公営住宅を、平成 22 年度 72 戸の 1 次診断、34 戸の 2 次診断を実施し、目標を達成した。</p>
⑧結果の公表方法	美馬市のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>今回の計画に基づく事業の実施により、目標どおりの成果を得ることができた。</p> <p>今後は、平成 24 年度に策定した「美馬市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的に建替事業の推進と、既存住宅の予防保全的な維持管理を実施していくことにより、公営住宅等のストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの削減につなげる。</p> <p>平成 22 年度実施した耐震診断（1 次診断・2 次診断）を基に耐震性が確保できなかった住宅の 2 次診断や、耐震改修の耐震化に取り組み住宅の安全性の向上を目指していく。</p>
⑩その他	

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画について行ったものである。